

創刊6周年記念特大号1:地球と人をながもちさせるエコ・マガジン

ソトコト

S O T O K O T O

6

June 2005

No.72

Special Price

800YEN

特集:ルイ・グエイトンの環境宣言

特別付録:ソトコトCD「坂本龍一×アリ・アッタス対談」





"AFOREST DESIGN" TV-OFF, THE KNITTED SESSIONS

ポルトガル発 エコ・ファッション "テレビのスイッチを消そう"

文●にむらじゅんこ(「ソトコ」海外特派員)
写真●ARQUIVO MODALISBOA/LUI VASCO

エコやヒューマニズムをどんなに力説しても、ピラや演説だけでは、振り向いてくれる人は少ない。最近では、エコロジーのメッセージは、マルチ・メディア、音楽、ファッション、料理の領域にまで浸透している。そんななか、西の果ての国、ポルトガルで、ニットで大量消費文化へのささやかなプロテストをしているエコ・マインドな若いデザイナーがいて、会いに出かけた。

3月に行われた第24回リスボン・ファッションウィーク「Moda Lisboa(モダ・リスボア)」で、ヨーロッパのファッション・ジャーナリスト陣に最も注目されたのが、「AFOREST DESIGN(アフォーレスト・デザイン)」だった。

このブランドは、建築学校でファッション・デザインを学んだという28歳のリスボナー、Sara Lamunia(サラ・ラムリア)のブランド。彼女の95年秋/冬のテーマは、ずばり、「Turn Off TV(テレビのスイッチを消そう)」。カウチ・

ポテトとザッピングの終焉、陳腐なニュースや、広告、下世話な文化へのプロテストが込められた彼女のニット作品は、RGBカラー(赤・緑・青)の三原色を使ったユーモラスなもの。カラーでご紹介できないのがちょっと残念……。

いったいどこからその発想が生まれたのか、サラに聞いてみた。

——ニットでTV-OFFをアピールしようと思ったきっかけは?

サラ(以下S) 5年ぐらい前でしょうか。「NO TV キャンペーン」の存在を、雑誌「Adbusters」で知りました。また、ヨーロッパには、「NO TV キャンペーン」を各地でやっているNPOがあることを知りました。「NO TV キャンペーン」

のほかにも、テレビやメジャー雑誌では報じられていないキャンペーンがたくさんあるんですよ。

——サラさんは、「NO TV キャンペーン」をどう捉えていますか?

S 私は、キャンペーンを、テレビの絶対否定とは捉えていません。でも、テレビの見過ぎは、私たちの生活や思考に影響を与えるということは確かだと思います。私たちの生活は「～しなければいけない」という義務でいっぱい。知っておくべき、買うべき、見るべきものがたくさんあります。短期間の間に情報を詰め込みすぎているのだと思います。

——なるほど。スイッチを切るだけでもゆとりが戻ってくるかもしれませんね。では、今回のコレクションのテーマに「NO TV キャンペーン」を選んだのは……?

S メッセージが書かれたTシャツを作るのなら、誰にでもできます。コレクション全体を一つのメッセージで統一することによって、商品をお店で販売するときに、メッセージを伝達できると思いました。

——サラさん自身は、エコ・アクティビスト?

S ……うーん。私は、日常生活の中でできる限りのことをしようと努めていますし、エコロジーに関するあらゆる情報にも詳しくなりたいと思っています。でも、エコ・アクティビストではありません。エコの前に、ポルトガルでは、まず人々のメンタリティが問題ですね。地球温暖化を眼の前にして、自家

"Do you know we are ruled by TV?"

「僕らはテレビに支配されているって、気づいていた？」

(ジム・モリソン「An American Prayer」より)



彼女がサラ・ラムリア。若い!
<http://www.aforest-design.com/where.htm>

用車をシェアするとか、そういう「シェアリング」の精神を培っていくべきではないかな。政治的には、新しいポルトガルの首相には期待をしているわ。彼は、前首相よりもエコに関心があるみたい。でも、最も難しい問題は、経済のグローバルイゼーションじゃないかな。

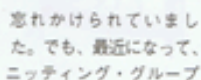
——ニットについて質問です。ポルトガルの街々で、手編みのクッションカバーなどを見かけます。ニットで現代アートをしている女性もいますが、ポルトガルは伝統的にニット好きな国民なのですか?

S そうなのですが、ここ10年ぐらい

忘れかけられていました。でも、最近になって、ニットング・グループ

などができ、一緒に編んだり、テクニックを交換し合ったりする会があるんですよ。

——日本語を習っているって本当? S ええ。日本でデザインとアートの勉強したいと思っているの!



「テレビ消灯週間」キャンペーンについて

4月25日～5月1日までの1週間は、TV TURNOFF WEEK(テレビ消灯週間)。世界各地のNPOによって、キャンペーンが繰り広げられます。

ADBUSTERS

<http://www.adbusters.org/home/>

ADBUSTERS(日本語版)

<http://adbusters.cool.ne.jp/>

Tv turn off network

<http://www.turnoffyourtv.com/>

Kill your TV

<http://www.tvturnoff.org/index.htm>

WHITE DOT

<http://www.whitedot.org/>

